

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：令和6年3月6日（水）18:30～19:30
2. 開催場所：三省堂書店札幌店内ブックス&カフェ UCC
（札幌市中央区北五条西 2-5JR タワー札幌ステラプレイス 5F）



カフェの様子

3. 関係団体等：
（主催）三省堂書店札幌店内ブックス&カフェ UCC
（共催）北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 CoSTEP (Communication in Science & Technology Education & Research Program; コーステップ)、日本学術会議北海道地区会議
4. 役割：
カフェ講師： 樋田 京子（北海道大学大学院歯学研究院教授／日本学術会議第二部会員）
聞き手： 朴 炫貞（北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 CoSTEP (Communication in Science & Technology Education & Research Program; コーステップ) 特任講師）
支援： 渡辺 雅彦（北海道大学大学院医学研究院特任教授／日本学術会議第二部会員）、三省堂書店

5. 概要：
（題目） 「血管研究の先に見えるもの」
（内容） 新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経て、病気に関する関心も、自分の健康を守ることへの関心も高まっていることから、人間の体に欠かせないライフラインである血管をテーマに取り上げた。
世界に先駆けて血管研究を進めている樋田京子教授を講師に迎え、樋田教授のアメリカ・ハーバード大学の留学と、子育てをしながらの研究についての体験から始まり、長年研究している「血管新生」や、血管の異常、がんの転移の新しいメカニズム、副作用の少ない新しいがんの治療薬の開発などの専門的な内容まで幅広い研究内容の紹介をしていただいた。
参加者からは、健康な血管を保つ方法や、若返る研究についての質問、医学を学ぶ学生からの専門的な質問まで、多くの質問を基に議論が行われ、盛況のうちに終了した。

6. 参加人数：
講演者等：3人
その他の参加者：13名

7. 特記事項：

三省堂書店札幌店内のカフェで行われた本サイエンスカフェは、最先端の科学研究を行う研究者と一般市民が、飲み物を片手に気軽に話ができる雰囲気の中で行われた。

講師からの講演のほかに、日本学術会議会員の渡辺雅彦特任教授からは、感染症やデジタル化でオンラインが進んでいる中で、市民と対面で話し合うことができるサイエンスカフェという場の大切さについてお話しがあった。

アンケートの結果では、情報量が多かったという意見や、最先端の研究について知る機会になってよかったという意見まで、幅広い意見があった。



左から朴特任講師、樋田教授、渡辺特任教授